

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）

えいごネットの「やさしく読める英語ニュース」の音声ファイルを聞いて、下の空欄の単語を聞き取る練習をしてみましょう。

Okinawa marks 50 years since U.S. return to Japan

Okinawa Prefecture was returned to Japan from U.S. rule on May 15, (1).

On May 15 this year, the (2) marked 50 years since that date. (3) the prefecture was reverted to Japanese rule, there are (4) U.S. military bases in Okinawa.

There was a ceremony near one of those, U.S. Marine Corps Air Station Futenma, to mark the 50 years.

Okinawans (5) to protest the presence (6) the bases.

<ヒント>

- (1) 西暦の読み方を覚えよう。
- (2) ここでは沖縄県を指す。
- (3) この1文を読んでどの品詞が入るか分かるかな？
- (4) いまだに多くの米軍基地が沖縄県に残っている。
- (5) 多くの沖縄県民は長きに渡り米軍基地の存在に反対してきた。
- (6) the presence (6)の成句として覚えてしまおう。

やさしく読める英語ニュース（聞き取り問題）解答編

<解答>

- (1) 1972 **数詞** nineteen seventy two. 19 と 72 に分けて読む。自分の生まれた西暦を英語で言えるようにしよう。
- (2) prefecture **名** 「県」。ちなみにアメリカの州は state, カナダの州は province と国によって行政区域の呼び名が違う。
- (3) Although **接** 前後の文脈から接続詞が入ることは見抜きたい。ここでは逆接の接続詞 although 「～だけれども」が入る。
- (4) still **副** 「まだ、なお」。
- (5) continue **動** 「～し続ける」。continue は like, start, begin のように直後に to 不定詞と動名詞 (ing) の両方を用いることができる動詞であることを覚えておこう。
- (6) of **前** the presence of～で、「～の存在」。

<ニュース解説（英文の和訳ではありません）>

1945年8月に太平洋戦争が終戦し、1952年4月にサンフランシスコ平和条約が発効。沖縄はアメリカの統治下となった。その後、1967年12月に当時の佐藤栄作首相が国会で「非核三原則」を表明し、1969年に佐藤首相と当時のニクソン米大統領が「核抜き本土並み」で沖縄の返還に合意。1972年5月15日に沖縄が返還された。

佐藤首相とニクソン米大統領の日米首脳会談により、沖縄返還が決定し、核兵器は撤去されたが、有事の際には沖縄への核兵器の持ち込みを認める“密約”が日米間で交わされていた。しかし、当時の琉球政府はあくまで無条件の即時全面返還、いわば基地のない状況での返還を望んでいた。ただ、もしかするとこうした合意がなければ沖縄の早期返還は実現しなかったのかもしれない。

沖縄には多くの米軍基地が残っているが、日本全国各地にも存在する。騒音問題や米軍兵士の素行など度々問題視されている現状がある。日米双方にとって本当に友好かつ望ましい関係とはどのようなものなのか。この機会に改めて考え直してみよう。